

11月26日現在 仲間ふやし124人、増資831万円

けんこうチャレンジの次年度取り組み相談で県を訪問

11月20日、今年度の「けんこうチャレンジ」の主催団体になってくださった県生協連の福島事務局長と、田中組織部長・高野主任とで、広島県地域包括ケア・高齢者支援課を訪問しました。まず、今年度、後援していただいたことに御礼を述べ、今年度の取り組みが3800件ほど進んだことを報告しますと、県内広い地域にわたってとてもよい取り組みをされていますねと改めて評価していただきました。続いて、次年度の広島県の関わりについて打診しましたところ、いきなり主催者になるのは難しいということでしたが、来年1月に予定する実行委員会準備会には、地域包括ケア・高齢者支援課から1名は出席しますと言っていただきました。けんこうチャレンジは2年目を迎え、新たな展開を進めることになりそうです。



【相談の様子】

すねと改めて評価していただきました。続いて、次年度の広島県の関わりについて打診しましたところ、いきなり主催者になるのは難しいということでしたが、来年1月に予定する実行委員会準備会には、地域包括ケア・高齢者支援課から1名は出席しますと言っていただきました。けんこうチャレンジは2年目を迎え、新たな展開を進めることになりそうです。

親子の絆づくりプログラム&パパ講座 同時開催

11月21日、「親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんがきた!”」を開催(ひろしまこども夢財団との共催)しました。

第1回目には、赤ちゃんとお母さんの5組が参加されました。夢財団の相原さんがファシリテータとして進行されました。まず自己紹介のあと、それぞれ「臍に落ちないこと」「切羽詰まって困っていること」「他はどうしているか聞いてみたいこと」を書き出し、2組に分かれて悩みを出し合いました。そして、夢財団が独自に作成しておられる子育てのテキストなども使いながら助言も受け、お母さん同士で話がはずんでいました。このプログラムは4週連続で開催されます。



【赤ちゃんがきた!】



【パパ講座 育児を楽しむ方法】

親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんがきた!”と同日、当生協では初めてとなるパパ向けの講座を開催し、パパ4人と夫婦3組の計10名の参加がありました。パパフレンド協会代表理事の北さんを講師にお招きし、「育児を楽しむ」をテーマに物事の見え方や視点、パートナーへの心配りや言葉づかいなどのお話を聞きました。次回は12月19日に開催します。この企画を通じてパパ同士のつながりもつくっていきたく思います。

協同組合がよりよい社会を築きます



広島中央保健生活協同組合

